

目的、対象と方法

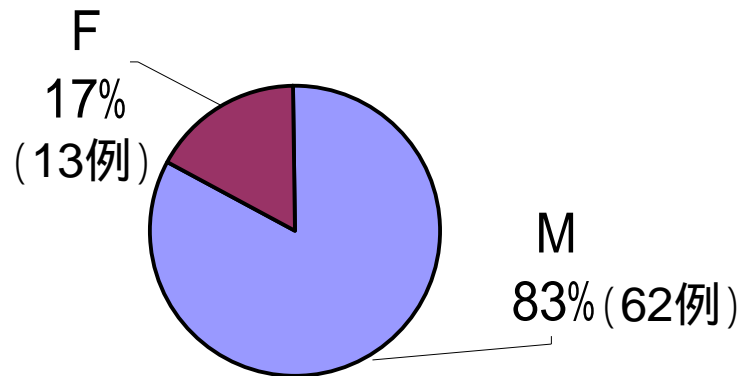
【目的】病的賭博者のエゴグラム (ECL) を分析し、その人格傾向を明らかにする。

【対象】2004年2月 - 2007年2月に当院にて同症と診断された83例中、ECLを施行した75例。

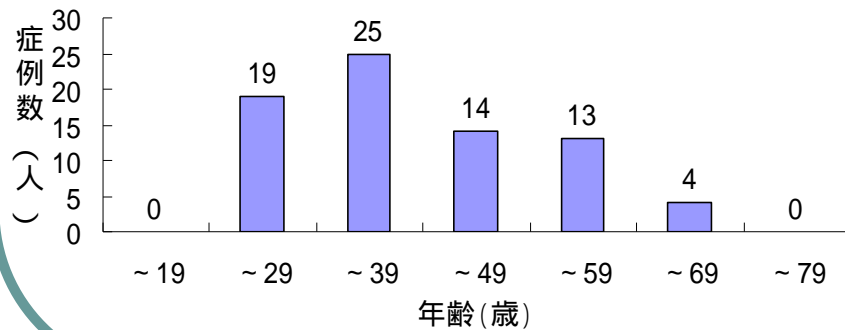
【方法】1. 患者属性、2. ECL各自我状態の得点分布、3. ピークの自我状態の頻度を調べ、4. 症例を自我構造類型別に分類。

結果1 患者属性1

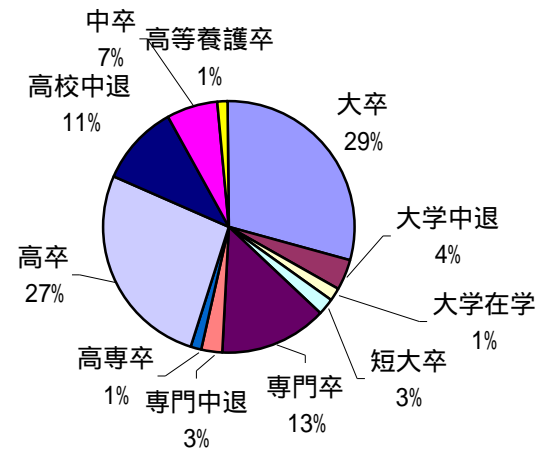
1 性別



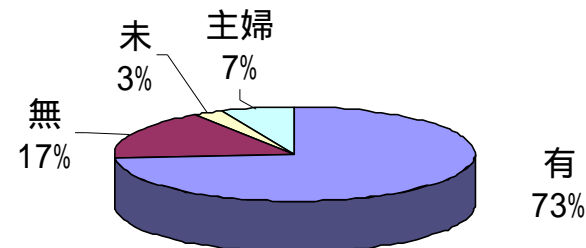
2 年齢



3 学歴

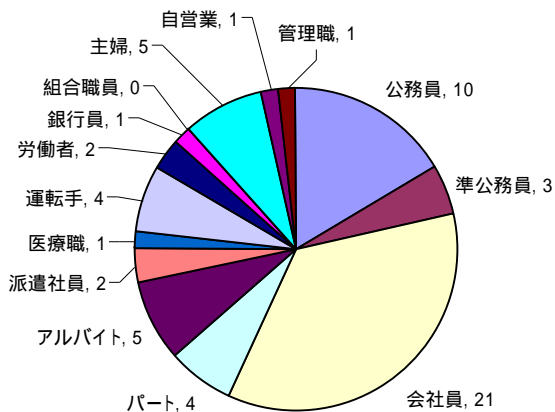


4 就労状況

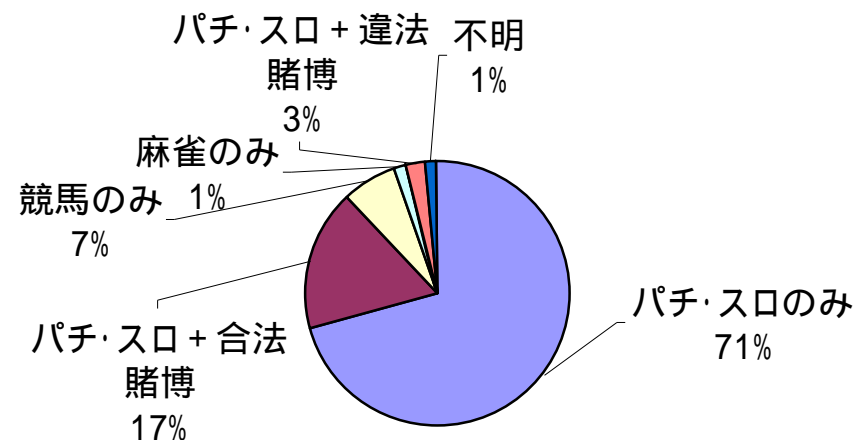


結果 1-2 患者属性 2

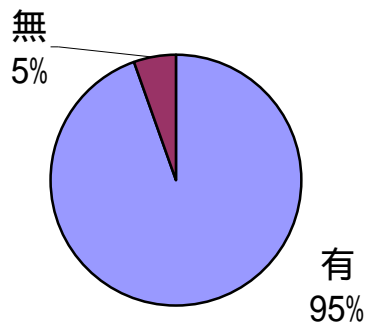
5 就労者の職種別割合



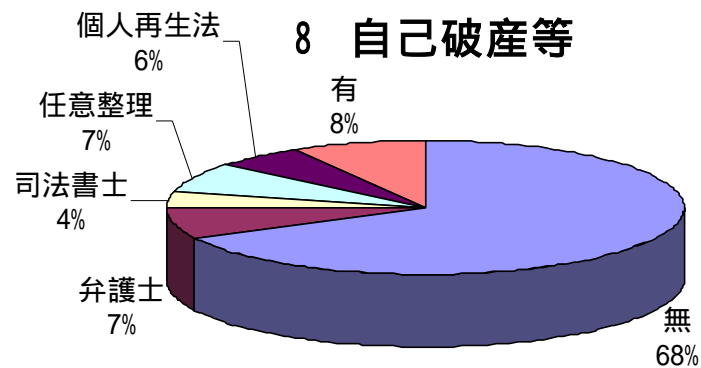
6 賭博種類



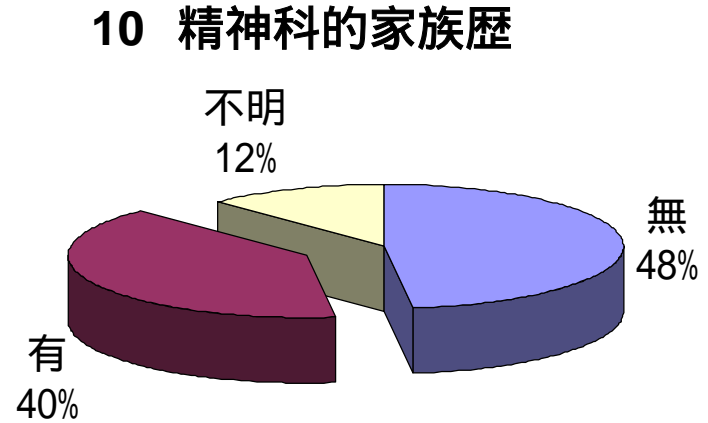
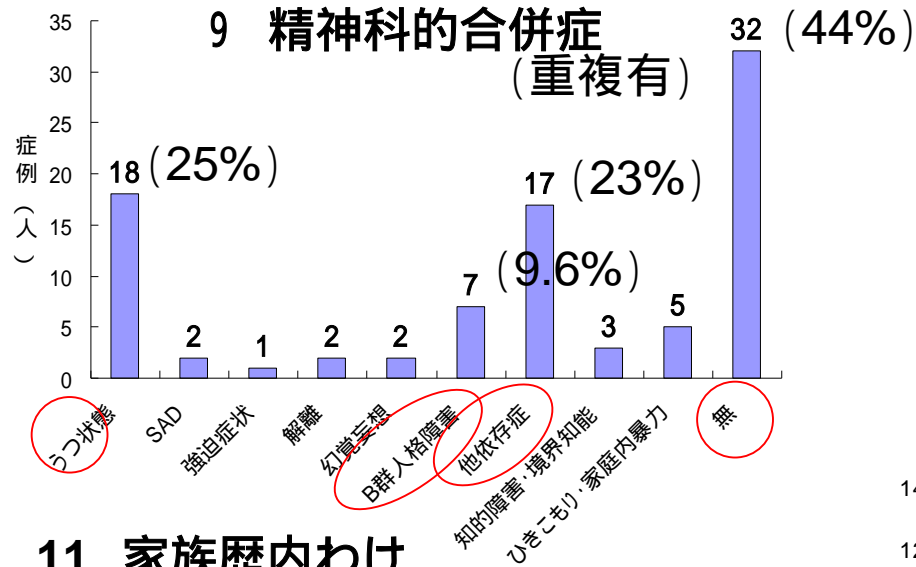
7 負債の有無



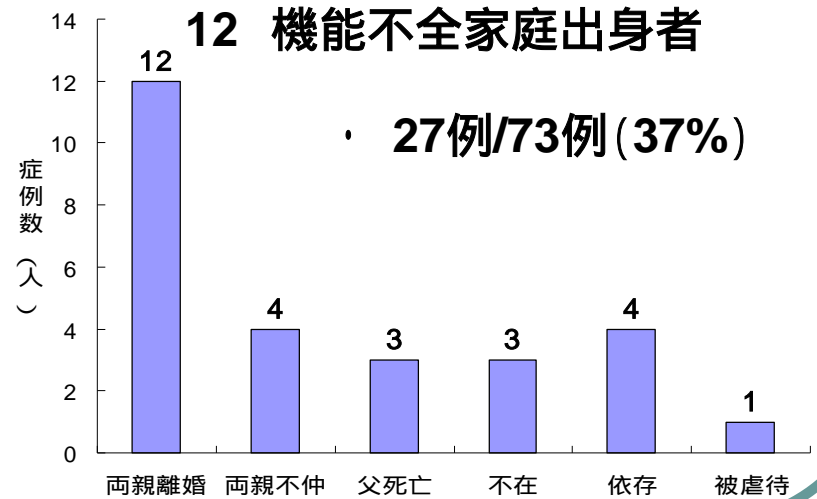
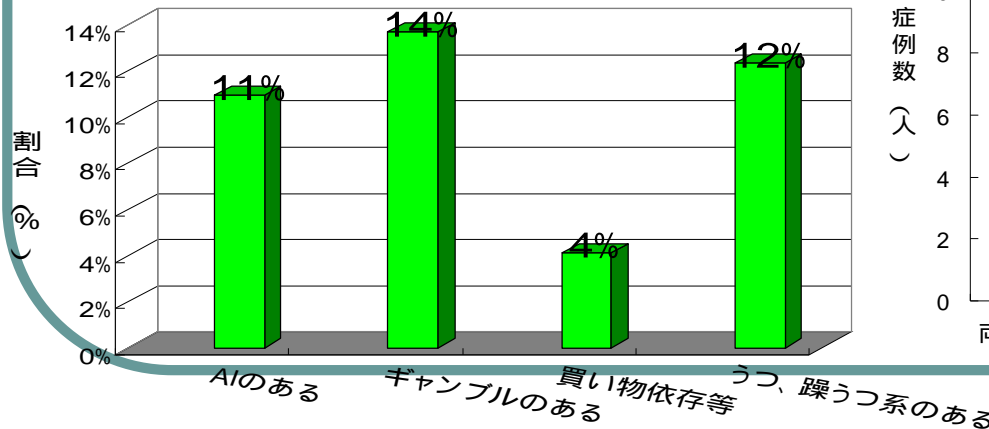
8 自己破産等



結果1-3 患者属性3

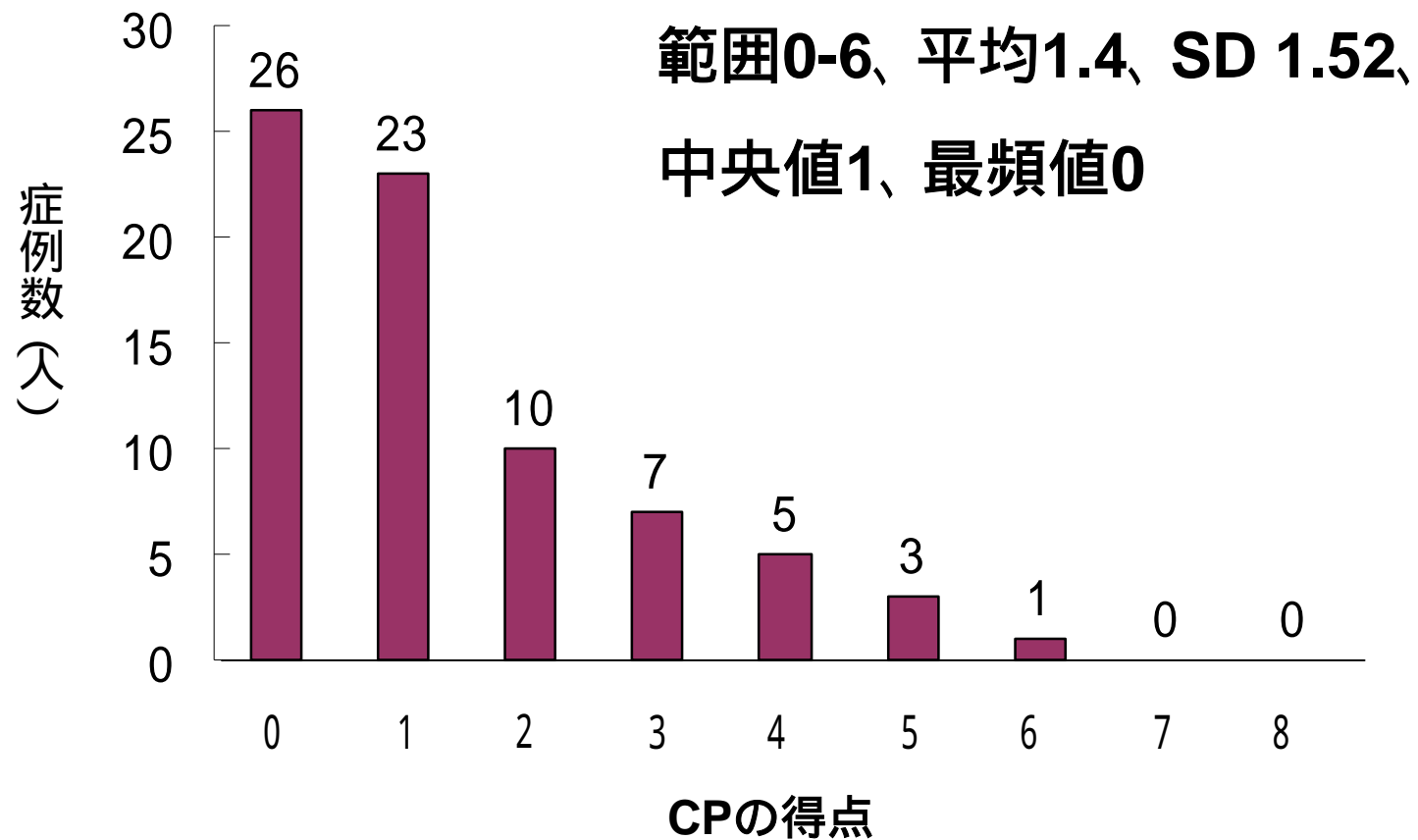


11 家族歴内わけ

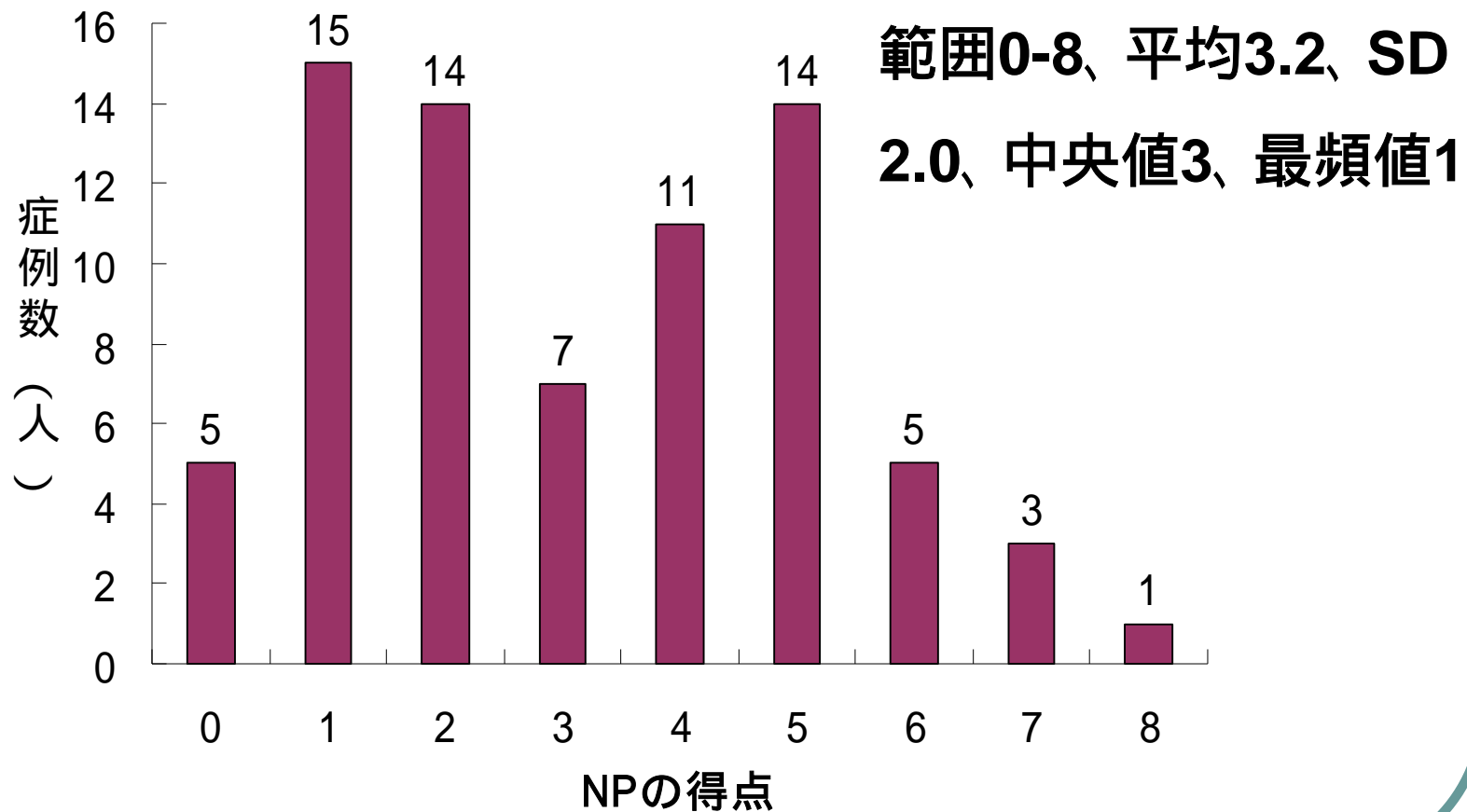


103回日本精神神経学会発表から引用

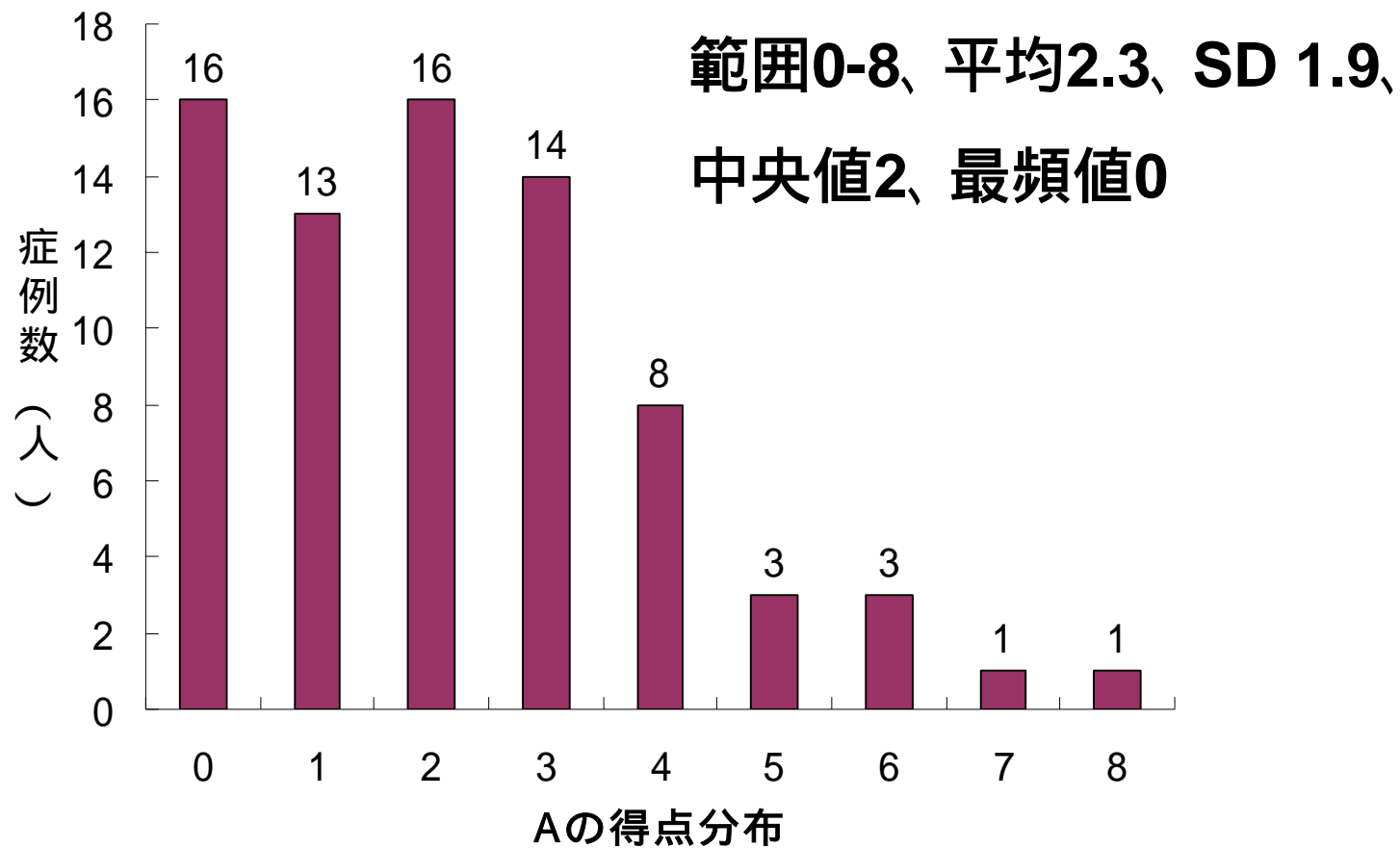
結果2 ECL CPの得点分布



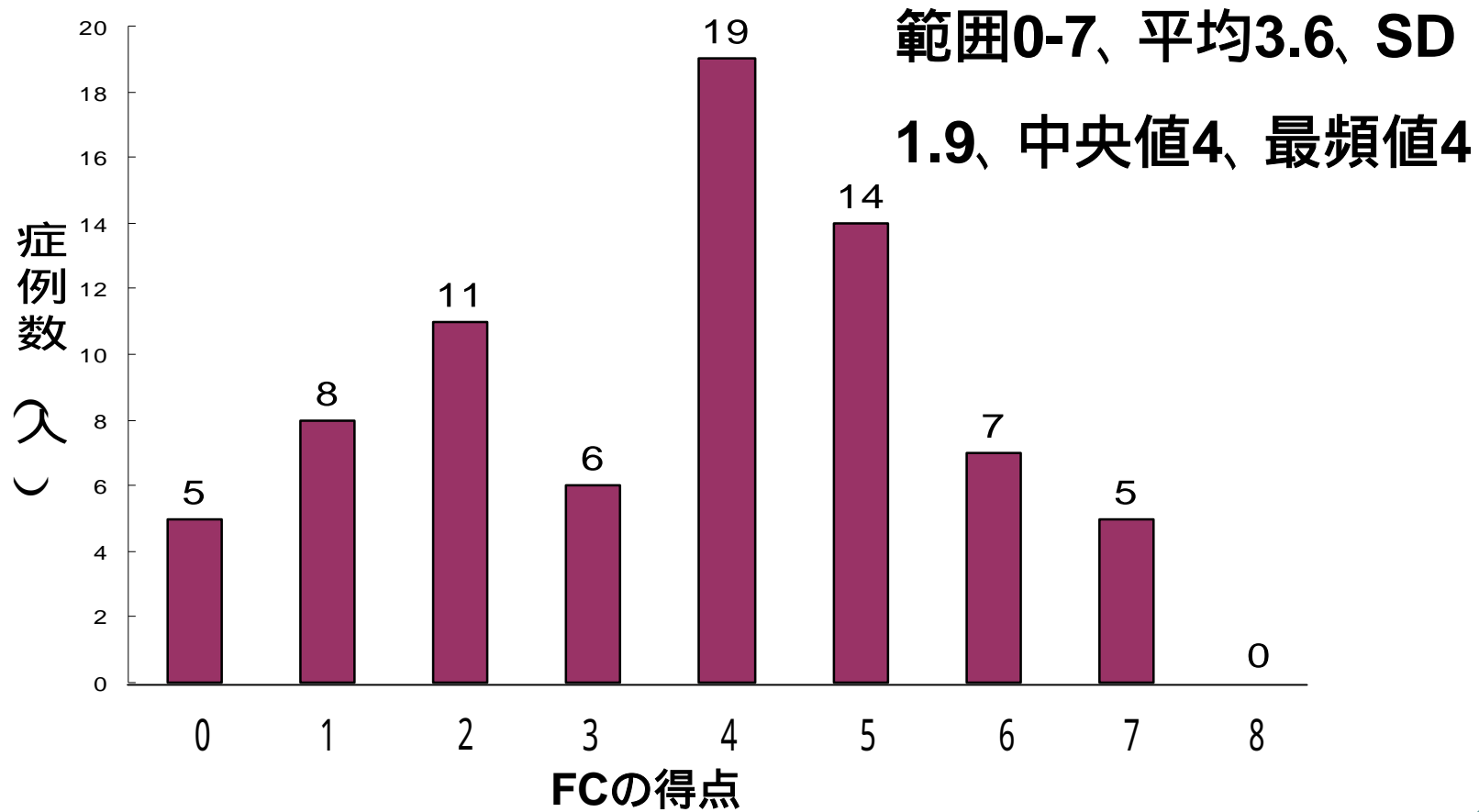
結果2-2 ECL NPの得点分布



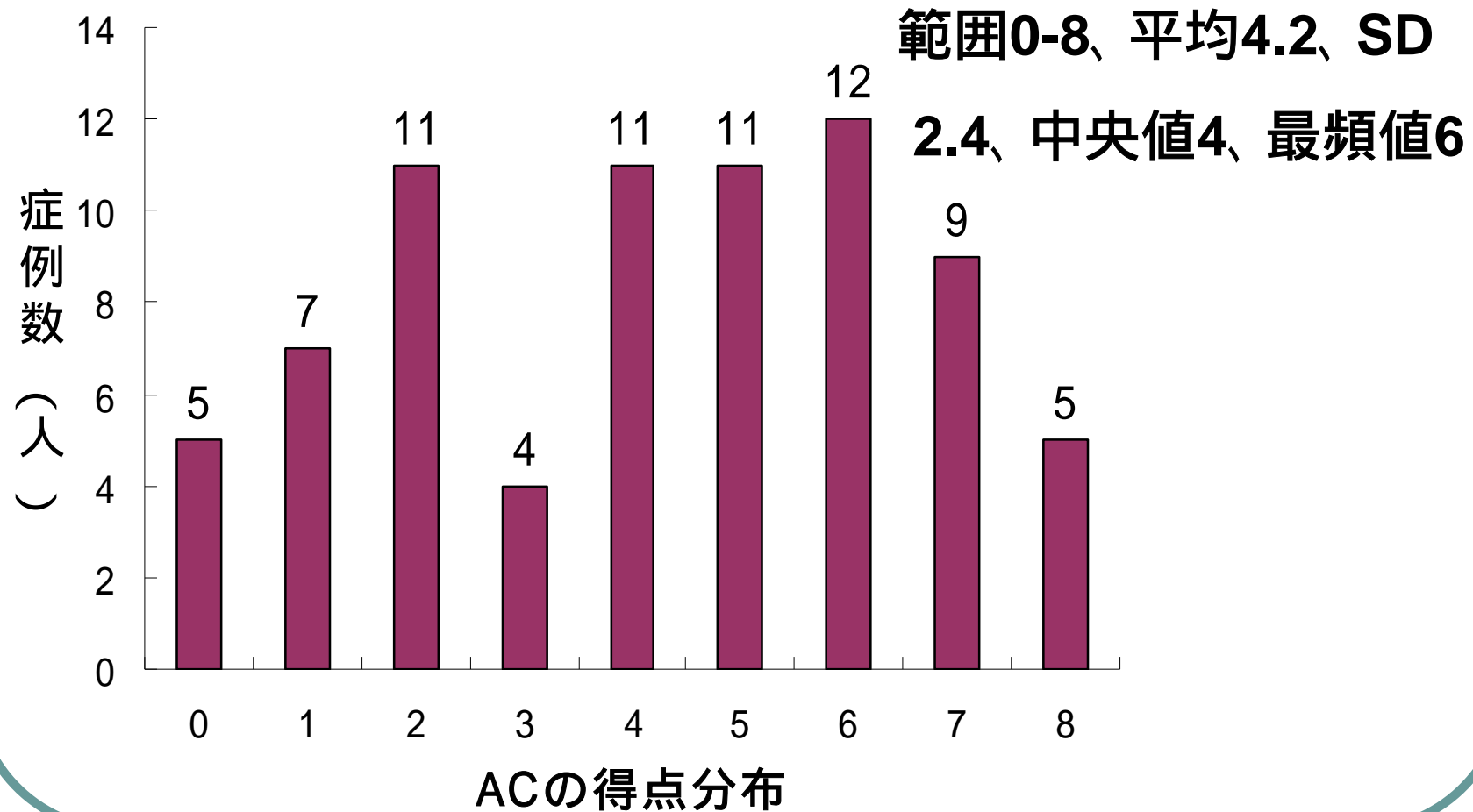
結果2-3 ECL Aの得点分布



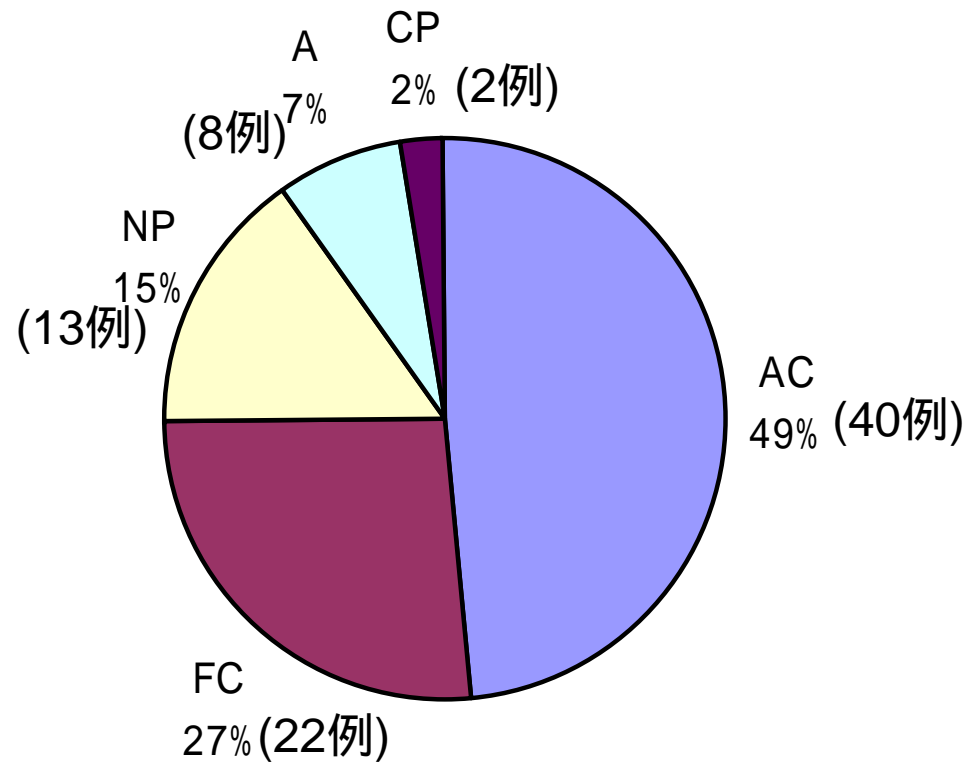
結果2-4 ECL FCの得点分布



結果 2-5 ECL ACの得点分布

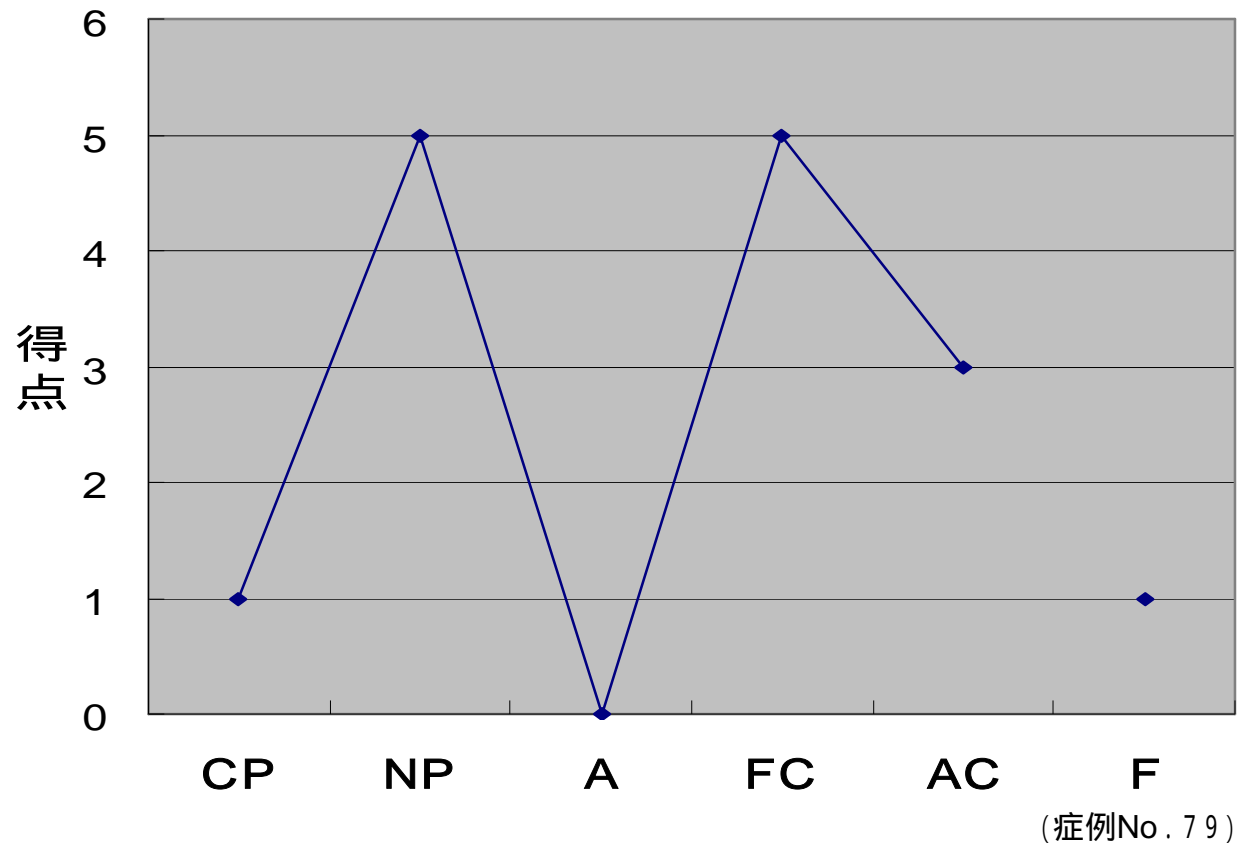


結果3 ピークの自我状態



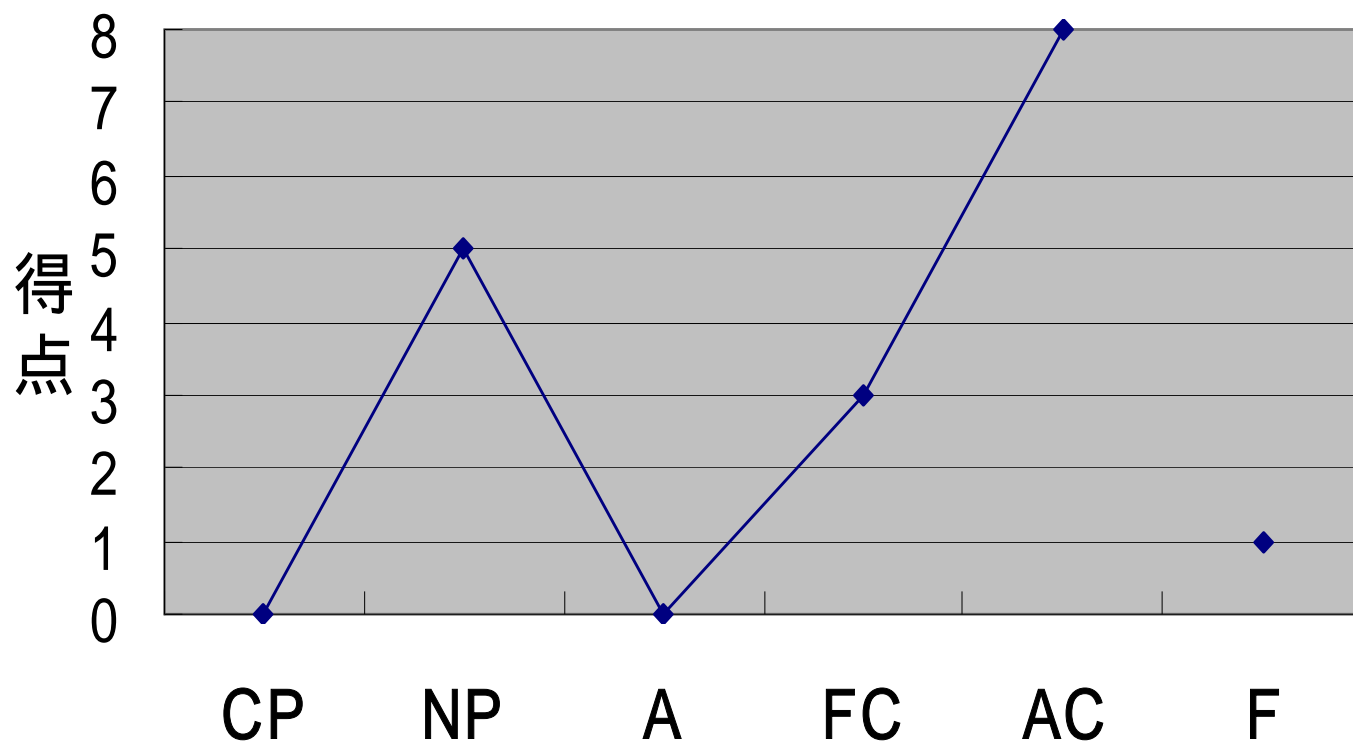
結果4 自我構造類型別分類

● 第1群 M型 22例



結果4-2 自我構造別分類

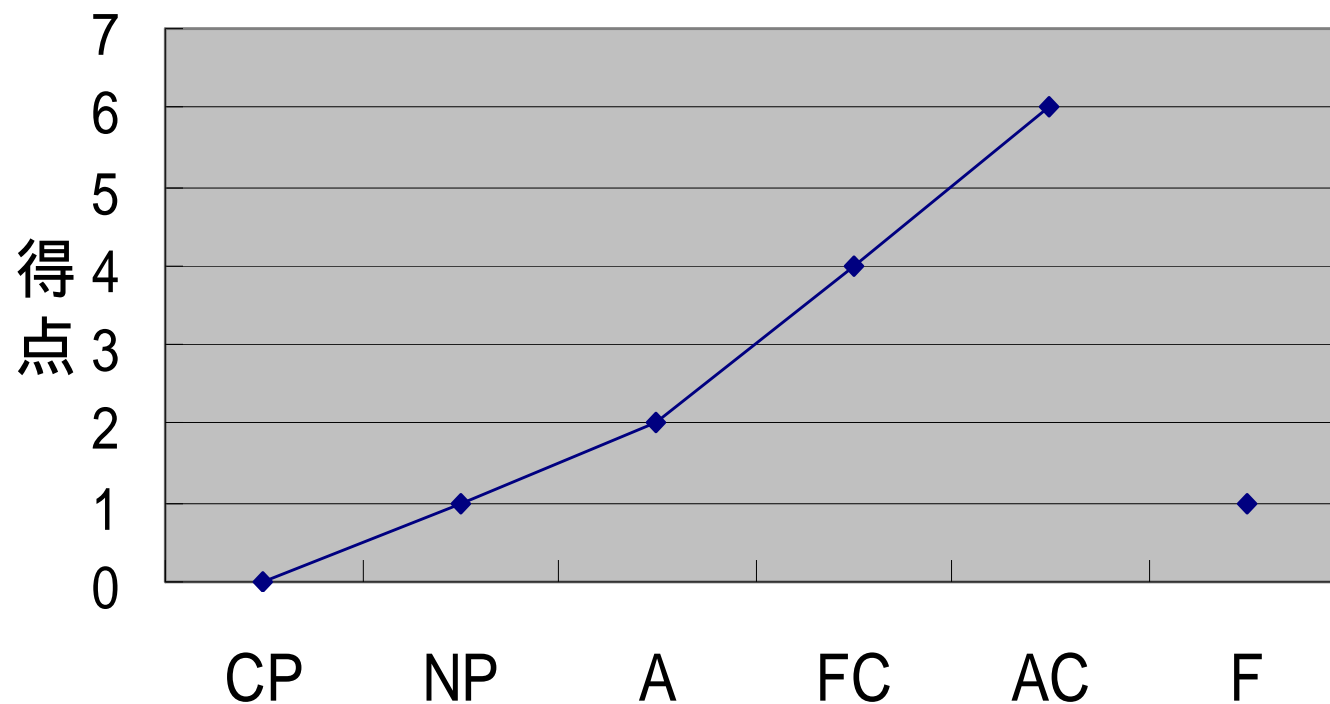
● 第2群 N型 21例



(症例No. 1)

結果4-3 自我構造別分類

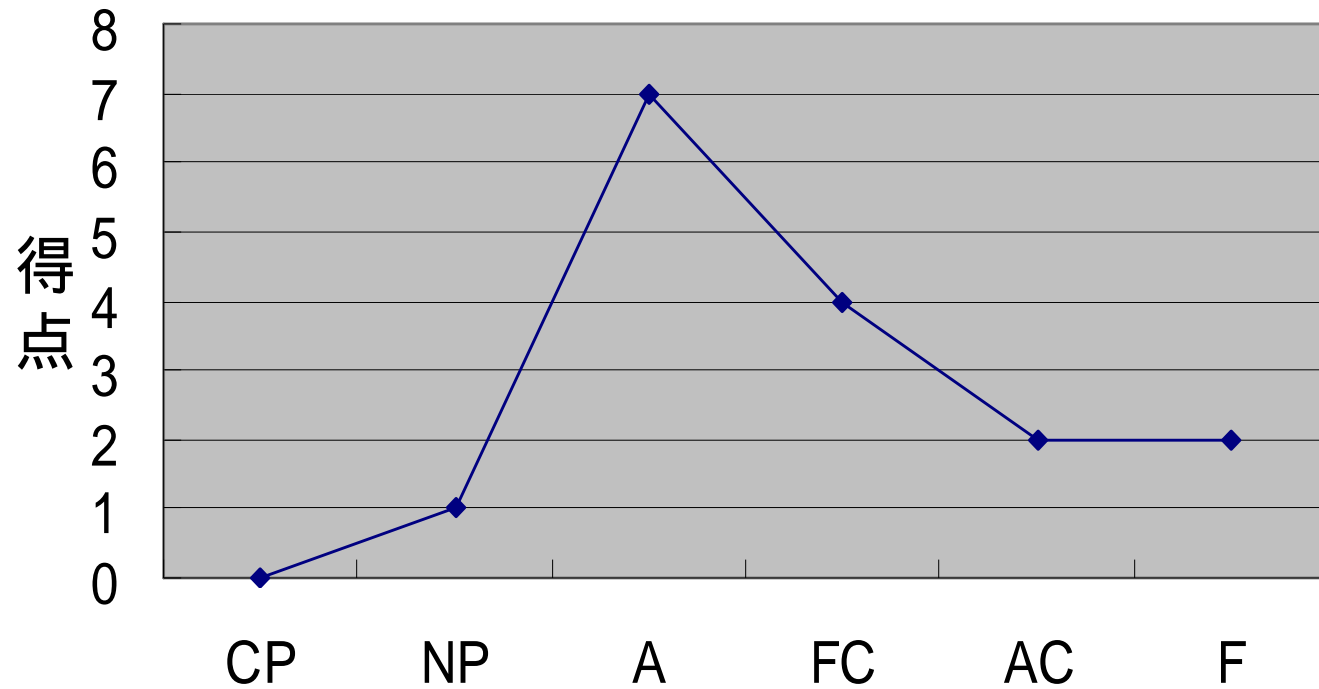
- 第3群 右肩上がり型 9例



(症例No. 80)

結果4-4 自我構造別分類

- 第4群 山型(ピークがA) 6例



(症例No. 27)

- 第5群 その他 15例